

総会

配布：一般

2014年2月7日

第68会期

議事日程議題 67(b)

2013年12月23日に総会で採択された決議

[主要委員会への付託なしに (A/68/L.34)]

68/237 アフリカ系の人々のための国際の10年の宣言

総会は、

民族主義、人種差別、外国人嫌いおよび関連する不寛容に対する世界会議を召集することを決定した1997年12月12日の総会決議52/111、および世界会議に対する包括的なフォローアップとダーバン宣言並びに行動計画<sup>1</sup>の効果的な実施を指導した、2002年3月27日の56/266、2002年12月18日の57/195、2003年12月22日の58/160、2004年12月20日の59/177および2005年12月16日の60/144の総会諸決議を想起し、

全ての人間は、自由に生まれまた尊厳と権利において平等でありそして自らの社会の発展と福祉に建設的に貢献する可能性を有しており、そして別の人種の存在を決定することを試みる理論と共に、人種的優越性の教義は、科学的に誤っており、道徳的にすべきであり、社会的に不公正且つ危険でありまた拒否されなければならないことをくり返し表明し、

差別や分離を禁止しそして経済的、社会的および文化的並びに市民的および政治的権利の完全な享受を発生させる国により遂行された努力や活動を承認し、

これに関する努力にもかかわらず、何百万もの人間が、その幾つかは暴力的な形態をとった、

---

<sup>1</sup> A/CONF.189/12 および正誤表1、第I章を見よ。

その現代の表現を含む、民族主義、人種差別、外国人嫌いおよび関連する不寛容の犠牲者となり続けていることを強調し、

アフリカ系の人々のための国際年として 2011 年を宣言した、2009 年 12 月 18 日の総会決議 64/169 もまた強調し、

民族主義および人種差別と闘う 10 年を三度宣言した、1973 年 11 月 2 日の 3057 (XXVIII)、1983 年 11 月 22 日の 38/14 および 1993 年 12 月 20 日の 48/91 の総会決議を想起し、またそれらの目的がいまだ達成されていないという事実を意識して、

2013 年に国際 10 年を宣言することを目的に、「アフリカ系の人々：理解、正義および開発」というテーマで、アフリカ系の人々のための国際 10 年の宣言のための非公式な協議的準備過程を始めることを、総会議長、加盟国、関連する国際連合計画および機関並びに非政府組織を含む市民社会に対して要求した、2012 年 12 月 20 日の総会決議 67/155 を強調し、

人権理事会による採択のため、テーマを含む、行動計画を策定することをアフリカ系の人々に関する専門家の作業部会に奨励した、2011 年 12 月 19 日の総会決議 66/144 の第 61 項を想起し、そしてこれに関連してその中で理事会はアフリカ系の人々のための 10 年の行動計画案<sup>2</sup>を歓迎しそしてその採択を目的として総会にそれを送付することを決定した、2012 年 9 月 28 日の理事会決議 21/33<sup>3</sup>に留意し、

包括的でありまたアフリカ系の人々のための国際 10 年のための行動改革のための幅広い枠組として役立つことができる幅広い分野を扱う行動計画案を作り出すことにおいてアフリカ系の人々に関する専門家の作業部会により遂行された作業、および国際の 10 年を効果的にする方法についての事務総長報告書<sup>4</sup>に感謝の念をもって留意し、

1. 総会の第 69 会期の一般討論に続いて直ぐに公式に始められることになる「アフリカ系の人々：理解、正義および開発」のテーマで、2015 年 1 月 1 日に始まり 2024 年 12 月 31 日に終わ

---

<sup>2</sup> A/HRC/21/60/Add.2.

<sup>3</sup> 総会公式記録、第 67 会期、補遺 No.53A (A/67/53/Add.1)、第 II 章を見よ。

<sup>4</sup> A/67/879.

る、アフリカ系の人々のための国際 10 年を宣言する。

2. 総会議長に対し、世話人を通して、総会の第 68 会期の間にして遅くとも 2014 年 6 月 30 日までに、その基礎としてダーバン宣言および行動計画の効果的な実施に関する政府間作業部会により策定された計画案と共に、国際 10 年の実施のための計画を詳述する目的で、総会の加盟国および他の利害関係者との協議を継続することを要請する。

3. 国際 10 年の下での行動計画と活動を効果的に実施するために国際連合の通常予算および予算外資源からの予測可能な資金提供の配分を求める。

第 72 回本会合

2013 年 12 月 23 日